

帯広市立栄小学校 学校便り

さかえ



平成 30 年 1 月 25 日 校長 木下 剛

【学校経営の重点】

『明日(未来)へつなぐ』
～質の高い日常実践を通して～

【キャッチフレーズ】

★はげめ 勉強！

★ひびけ 挨拶！

★みがけ 清掃！

★ 3学期がスタートしました ★

26日間にわたる冬季休業が終わり、平成30年1月22日(月)より3学期が始まりました。

初日はいつものごとく、作品や学習用具などを手に持った子ども達が元気に登校しました。久しぶりに会う先生や友達と大きな声であいさつを交わす様子を見てみると、どの子も今日の日を待ちわびていたことがうかがわれます。そして、いつの間にか教室は一気ににぎやかさを増し、学校にいつもの光景が戻ってきました。



始業式には、今まで習ってきたことや身につけてきたことを、より確実にできるようになって、3学期を終えてほしいとの願いから、次のようなことを話しました。それぞれの学年をしっかりと締め括ってほしいものです。



- ❖ 1年生 ～ しっかりあいさつ・しっかり返事・しっかり聞くことのできる1年生に！
- ❖ 2年生 ～ 自分の考えをしっかりともち、失敗を恐れず、何度も発表できる2年生に！
- ❖ 3年生 ～ 学習のきまりをしっかりと身につけた3年生、人の嫌がることをしない優しい3年生に！
- ❖ 4年生 ～ 自分のいいところをもっともっと伸ばす4年生。勉強が難しくても、決して弱音を吐かないで、がんばる4年生に！
- ❖ 5年生 ～ やさしい言葉づかいで友達と接したり、下級生を優しく面倒みたりできる5年生に、家庭学習を毎日1時間以上行う5年生に！
- ❖ 6年生 ～ 残りはたった43日間しかありません。がんばるも、怠けるも、あなた次第。さすが6年生だと言われる姿で、小学校を卒業して行ってほしい！

さて、この冬休み期間中、子ども達はご家庭ではどのような日々を過ごしたでしょうか。普段はなかなか一家団らの時間がとれないものですが、正月などには家族揃っての日々を過ごすことができたのではないかと思います。いずれにしても、学校を離れ家庭中心の生活をたっぷり味わった子ども達は、身も心もしっかり充電したことと思います。保護者の皆さま、お疲れさまでした。



堂々と発表した3年生の代表二人

今学期は1/22(月)の始業式から3月23日(金)までの43日間という短い登校日数となります。1年間のまとめの学期であり、新しい学年に進級・進学する心構えをしっかりとって臨む大切な学期です。寒さ厳しい日々が続きますが、まずは安全に登下校してくれることを願っています。そのためにも、きっちりとスイッチを切り替えさせていただき、元気にお家から送り出してほしいと思います。

三学期もどうぞよろしくお願い致します。

★ 冬休み作品展より ★

冬休み中、子ども達は工作や自由研究などに取り組み、その立派な成果物を提出してくれました。すでに、学級ごとに発表会形式で作品交流をしたところもあるようです。

現在、冬休み作品展を1階多目的室で開催しています(～29日まで)。全学年の作品を展示していますので、保護者の皆様にもぜひご覧いただきたいと思っております。



1月24日～30日は全国学校給食週間です

本校の1階廊下には『食育コーナー』という掲示スペースがあります。『食』に関する子ども達の興味・関心を育むことを目的に、栄養教諭が工夫を凝らし掲示しています。今回は「学校給食の始まり・全国学校給食週間」についてでした。

1階廊下(玄関近く)に掲示してありますので、ご来校時にぜひご覧ください。

「食育コーナー、の掲示より
「なるほど、なるほど。」
大人が見ても、勉強になりますよ。」



全国学校給食週間～明治22年から始まった給食は、戦争で一時中止になりました。戦争が終わり、日本では食べるものに困り、痩せて栄養失調になった子どもがたくさんいました。そのことを知ったアメリカのラ・ラ(アジア救済団体)は、昭和21年12月24日に脱脂粉乳や小麦粉などを東京の子ども達にプレゼントしました。こうして、学校給食が再開されました。今はこの日が冬休みに入っているため、1か月遅れの1月24日を給食記念日とし、その日から1週間を「全国学校給食週間」としています。

★ オリンピックの顔(マスコット)を、小学生が決めます ★

2020年東京オリンピック・パラリンピックの公式マスコット候補が、3種類発表されています。

この中から一つが選定され、公式マスコットになるのですが、何とこのマスコットを小学生が投票で決めるという斬新な試みが、今行われています。

全国の小学生による学級単位のインターネット投票(事前参加登録制)を行い、最多得票の採用作品を決定する運びとなっています。

全国の約21,000校、約286,000学級が対象で、そのうち北海道には約1,100校、約12,000学級があります。本校では早々に登録を済ませ、12月中に投票を終了したところです。

今後決定されるマスコットには、本校の子ども達が投じた13票からも何票かが入っているはずですよ。そう考えると、東京オリンピックを何故か身近に感じてしまうのは、私だけでしょうか。

ご家庭では、どの候補がお好みですか？

